英国インテリアメソッド
イーラーニングインテリアデザインカレッジ

世界クラスのインテリアへ

澤山塾

開校のご案内

BABID
The Business Associates of British Interior Design
一般社団法人 英国インテリアデザインビジネス協会

澤山塾とは

インテリアデザインを圧倒的に豊かにする

澤山式 英国インテリアメソッド

インターネットラーニングプログラムです。

インテリアデザイン激戦地のロンドンをベースに、約20年間英日でビジネスを続けてきました。この間に習得した全てのセオリーと知識を注ぎ作り上げたカリキュラムで、ロンドンデザインカレッジとの提携で2012年に少数精鋭でスタートしたのが澤山塾です。
受講生3期16名全員がThe Interior Design Professional Development Diplomaを取得し、世界最高峰のデザイン協会BIID正式メンバーに3期で15名輩出した澤山メソッドは、そのカリキュラムと共に日英の業界で高く評価されています。
2017年4月、実績あるこのカリキュラムをさらに多くの皆様にお届けするため、いつからでも、どこでもだれでも自分のペースで学べるストリーミング授業として再編成したものが、新しい澤山塾です。

BABID
The Business Associates of British Interior Design

なぜ今カレッジで勉強？

- インテリアデザインは2000年の装飾芸術史とセオリーを内包する壮大な学問です。インテリアのセオリーを理解した時、インテリアデザインはもっと面白くなります。また、何々風や誰かのまねごとではない、独自の個性を持った唯一無二のデザインが生まれます。

- これから何十年も寄りそう家のデザインは、多くの対話とプロセスから生まれます。そのプロセスをプロとクライアントが一緒に理解した時、さらに素晴らしいデザインを創造することができます。クライアント向けの初の包括的授業を提供します。

- 英国のインテリアのレベルの高さやマーケットの大きさは、プロのみならずクライアントのインテリアへの理解度の高さと情熱にあります。2000年の芸術活動を人類の宝と考える土壌と、その分野での人々の教養の高さを背景として、市場自体が高見を目指すのです。一般の皆様に公開するプログラムはそのレベルの情報を得るための内容です。

- 英国 BIID のデザイナー達が世界最高レベルの職業団体といわれるゆえんは、プロになってからこそが本当の学びの始まりであるとの考え方と、それに対応しプロを教育するシステムを提供するからです。資格試験突破や学校終了はプロへの階段に足をかけたにすぎません。そこからのシステマティックな教育システムを日本で提供する場はありません。今までの空白の領域の学びを包括的に提供する、これが澤山塾です。

BABID
The Business Associates of British Interior Design

講師紹介

澤山 乃莉子　Noriko Sawayama

インテリアデザインカレッジ「澤山塾」主宰
一般社団法人 キュレーションホテル協会 代表理事
一般社団法人 英国インテリアデザインビジネス協会（BABID）代表理事
NSDA Noriko Sawayama Design & Associates Ltd（2000年設立代表)

- インテリアデザイナー、デザインコンサルタント、デザインプロデューサー
- 家具デザイナー（ミラノサローネ出展経験3回、英国D&D Award入賞）
- インテリアジャーナリスト（11年に渡り欧州トレンドリポート執筆）
- ホテルレストランマネジメント＆デザインコンサルタント
- 英国インテリアデザイン協会（BIID）正会員（国際委員、国際委員長、面接官などを歴任）
- 王立建築家協会RIBA Affiliate Member
- 日本デザインコンサルタント協会会員
- 日本インテリア学会会員
- 震災復興チャリティ「壁紙プロジェクト」、「壁紙アートプロジェクト」主催
- 伝統工芸品海外市場プロモーション「Buy J Crafts Campaign」主催

【受賞歴】
- 2016年、歴代8人目となる英国インテリアデザイン協会BIID「Merit Award」を受賞。デザイン、教育、協会への貢献が評価される。
- 2016年にロンドンの住宅、2018年に日本の住宅プロジェクトが、欧州最大級のインテリア賞「The Design and Architecture Award」入賞。
- 2018年、英国商業会議所主催ビジネス賞において起業家賞を受賞。2009年から続けた日英のインテリアをつなぐ経済交流活動を評価される。

BABID
The Business Associates of British Interior Design

受講のメリット

塾生の対象者は４つの分野。

① **一般消費者**
クライアントとなる一般の消費者の方はこのコースの受講で人生で最も大きな投資と言われる家づくりの指針が明確に見えてきます。インテリアを学ぶというわずかな投資が、プロとともにつくり上げる理想の家づくりをはるかに容易に成功に導きます。

② **インテリアのプロと学生**
インテリアのプロにとっては、成長と成功への近道を手にいれることとなります。また学生にとってはあらかじめ目指すべき方向性が明確になります。

③ **建築家や建築領域の専門家**
建築家がインテリアを武器にしたとき、より顧客に近づき、建築とインテリアを包括した、はるかに収益性の高い大きな仕事を視野に入れることができます。インテリアデザイナーとの協業ができます。

④ **世界最高峰のタイトルを目指すプロ**
同じ志のプロ達、それを達成した先輩たちとのネットワークと学びが得られ、そして実際にタイトル挑戦の場が与えられます。

それぞれ大きなメリットがあり、この塾の拡大は市場の拡大にもつながります。
さらに詳しいその理由を①の分野で見てみましょう。

BABID
The Business Associates of British Interior Design

①これから改装や新築を考える一般消費者の皆様

クライアントとなる一般の消費者の方は、このコース受講で人生で最も大きな投資といわれる家づくりの指針が明確に見えてきます。一般の方への包括的なコースは存在しませんでした。英国のクライアントは家を買うタイミングで、本当によく勉強します。インテリアデザインのショートコースに通う生徒の半分はこのように自分のために学ぶ一般消費者です。

このコースにより、インテリアデザイナーの家づくりはどのように進むのか、考えなければならい項目はどれくらいあるのか、そこでどのような決定を行っていくのか、どのようなプロ達がどのようなタイミングでどのようにかかわってくるのか、そのプロセスを理解することができます。

今の日本のいわゆる洋風インテリアは、残念ながら世界的スタンダードから見ると、ガラパゴスインテリアの道をたどっています。日本独自の進化を遂げていますが、実はそれが引き起こす問題は深刻です。問題への気づき、その成り立ちへの理解、自らの問題としてそれを解決する方法論の理解へと学びを進めていきます。

①これから改装や新築を考える一般消費者の皆様

澤山塾ではじっくりとデザインを面白くする重要項目、例えばグローバルデザイン史の授業に2カ月をかけます。なぜなら、欧州では装飾芸術は人類が無し得た最も尊いものという考えがあります。だから古い建築や街並み、そして歴史を経たデザインを守り、大切にし、未来へつなげます。また歴史の上に立つからこそ、真のオリジナリティが育まれます。

歴史エレメントを混同した建築デザイン、あるいは真似ごとの建築は美しくありません。歴史を入れるにはそれなりの理由があるはずです。それを外さない、一本芯の通ったデザインにする必要があります。そのために歴史への理解を深めます。

デザインとは個性を映しだすものです。だから、例えばアジアンテイスト、シャビーシック、インダストリアルなどの流行り物を真似するだけでなく、あなたを映すオリジナリティあふれるデザインを得た時、家は誇りになります。そのようなデザインづくりを学んでいきます。

①これから改装や新築を考える一般消費者の皆様

欧州では一般的で日本に入っていないものに、スタンダードな間取りがあります。英国の家の多くがそのスタンダードをベースとしています。だから誰でもその家に住める、ヤドカリのようにオーナーが代わっても生き続ける家になります。だから長く使える家となり、資産価値も下がりません。家の平均寿命がわずか30年の日本と80年の英国、この違いは明らかです。建築の在り方が、家の資産を下げてしまっています。これは止めなければなりません。

また、スタンダードがしっかりしているからこそ、置きたい家具が置けない、好きなカーテンがつれないという間違いも起きず、望んだデザインを手に入れることができるのです。つまり、スタンダードなセオリーを学ぶことで、住宅の資産価値を高めることもできるのです。

一般の消費者の方に、真のセオリーを学んでいただくことで、ご自宅を自信を持って誇れる家にしていただきたいと願っています。

①これから改装や新築を考える一般消費者の皆様

では、このコースを学んだ皆さんが実際のプロジェクトを依頼できるプロはどこにいるのでしょう。
心配しないでください。なぜなら既にこのコースをプロコースまで修め、英国の授業を終了しディプロマを得て、世界最高峰といわれる英国BIIDの試験を突破したプロが22名います。日本人BIID正式メンバー数は既に20名を超えています。

この人数はこのコースを受講するプロの増加により益々増えていきます。つまりほんとうにインテリアのセオリーを理解してデザイナー主導で仕事ができるプロが拡大しつつあります。このプロを私達はインテリアマスターと称します。

そのプロをギルド化し、日本のプロのみならず、英国BIID本国のメンバーに仕事が依頼できるプラットフォームが発足しました。それがBABID（Business Associates of British Interior Design）です。このコースで学び、インテリアマスターと共に、満足と誇りを得られる家づくりを行いましょう。

BABID
The Business Associates of British Interior Design

澤山塾 3つのプログラム

基礎知識から英国インテリアデザイン協会（BIID）受験コースまで、幅広く対応。

■基礎知識・理論（AB）コース
建築、インテリアに関わるすべてのプロ、それを目指す学生、これから家を建てようとする一般顧客ならびにインテリアに興味の高い一般の皆様を対象としています。「プロコース」、「アドバンスディプロマコース」を受講の方もこちらのコースからのスタートになります。

■プロ（CD）コース
「基礎知識・理論コース」を修了した建築やインテリアのプロ、プロを目指す学生の皆様を対象としています。

■アドバンスディプロマ（EF）コース
「基礎知識・理論コース」ならびに「プロコース」を修了予定のプロを対象とするコースです。入学には審査基準が適用され、建築やインテリアの資格取得あるいは高等教育経験者であり、プロとして３年以上の実務経験を持つ方が対象です。ロンドンコースならびにBIID受験を目指します。

BABID
The Business Associates of British Interior Design

澤山塾
モジュールピラミッド

基礎知識・理論コース	A・B
プロコース	C・D
アドバンスディプロマコース	E・F

ピラミッドの土台から積み上げるように、
知識と技術を高めていきます。

F：宿題解説採点授業、チュートリアルと個人面談、
BIID受験準備（対面スカイプ授業）

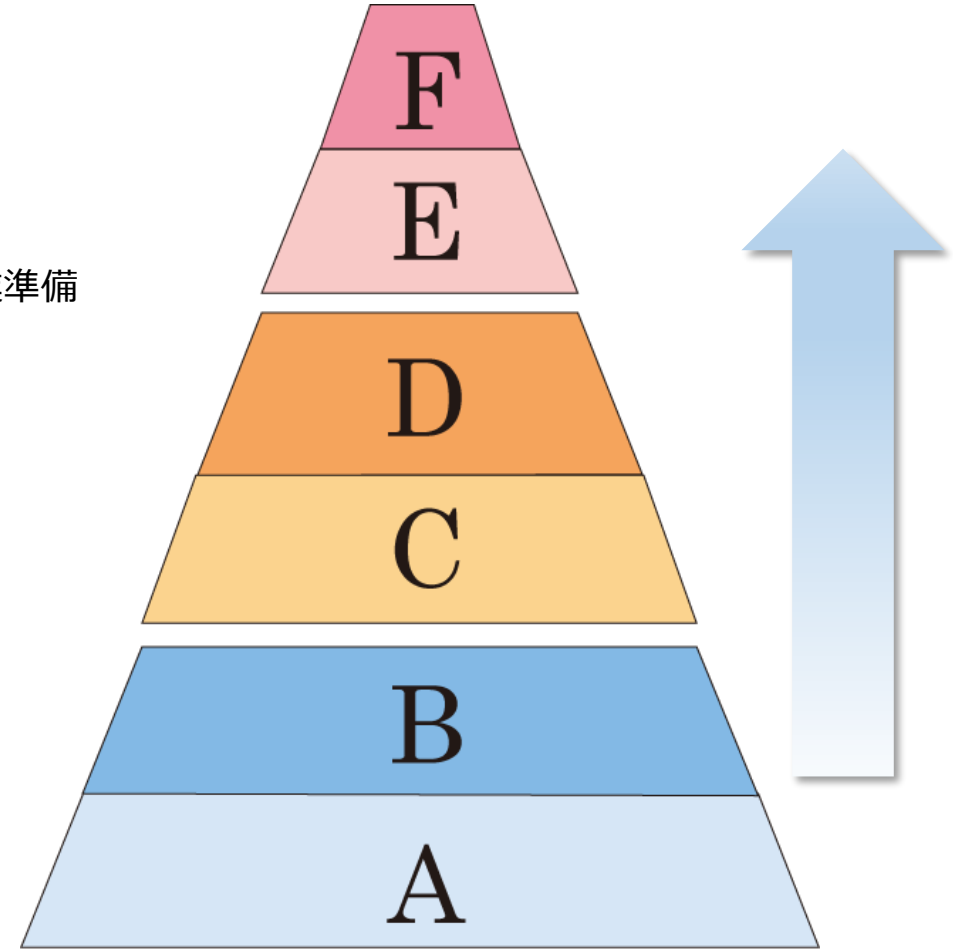
E：英語学習（専門用語、イディオム）、ロンドン授業準備
（対面スカイプ授業）

D：ビジネス構築
ブランディング・マーケッティング

C：スキル＆キャリアビルドアップ
デザインプロセス、プレゼン技術、2D,3D図面表現

B：インテリア理論
空間、間取り、色彩、ソフトファニシング
マテリアル、家具、建具
フィニッシングタッチ、アートディレクション等

A：インテリアデザインの知識
欧州市場理解、装飾デザイン史
商品研究、トレンド等



BA BID
The Business Associates of British Interior Design

カリキュラム（基礎知識・理論コース）

非常に広範囲にわたる練り上げられたカリキュラム。このレベルの総合的カリキュラムを提供できるのは澤山塾だけ。まず、インテリアデザインの面白さを知っていただくための項目です。詳しくは次のYouTubeでご覧いただけます。
https://youtu.be/jNbyR0AOg2s

基礎知識・理論コース

A　インテリアデザインを豊かにする知識(1)

モジュール番号		第回授業	配信日	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5
A	1	1	20170412	入学ガイダンス	カリキュラム、学習方法とルール	1	スケジュール	コースルール	カリキュラム紹介		
A	2	1	20170412	英国のインテリアデザインマーケット	デザインマーケットとプロの活躍	1	ロンドンの世界デザイン市場における位置付け、なぜロンドンが経済学的に重要なのか。	インテリアデザイナーがなぜ存在し、なぜ重要な職業なのか。その歴史は。	BIDデザイナー達のビジネスモデル。どうして市場を牽引できる集団なのか。トップデザイナーの役割。	コースが目指すもの インテリア市場の拡大 ガラパゴスインテリアからの脱却	日本でもセオリーを理解し、スキルを持ち、作品で勝負できる本物のセレブデザイナーを
A	3	2	20170419	デザインプロセスの理解	BIDデザイナーが主導的役割で行うプロジェクトとプロセスの理解	1	デザインプロセスの理解	プロとしてどのように捉えるのか。デザインプロセスを共有することの重要性。	クライアントとしてどう理解するのか。クライアント視線からの理解。		
A	4	2	20170419	英国のインテリアデザインマーケット	インテリアデザイナー、建築家、プロの職業の在り方	1	英国におけるプロの職業の実態とその有効性に関する理解	なぜ職業で素晴らしい家ができるのか	日本で職業の可能性を広げるための職権と領域	クライアントの立場で最もふさわしい職業の在り方を知る	
A	5	3	20170426	デザインの種	デザイナーとしての知識と感を磨く	1	デザインはどこから来るのか、デザインの種の確立さを知る	真似ごとでなく、何々風でなく、本物を目指す重要性	デザインの軸、デザインの幹を作る手法で、揺るがない大木を花開かせる	デザインの領域を広げる手法、雑誌、ウェブ映像を素材に。	デザインコンセプトの重要性と実際、その作り方
A	6	4	20170510	デザイン史	建築史、美術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	歴史チャートから読み取るもの、なぜ全方位的な歴史理解がインテリアに必要なのか。	ギリシャ	ローマ	初期キリスト教	ビザンチン
A	7	5	20170517	デザイン史	建築史、美術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ロマネスク	ゴシック	ルネッサンス	バロック	
A	8	6	20170524	デザイン史	建築史、美術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ロココ	新古典主義	エンパイヤー	リージェンシー	
A	9	7	20170607	デザイン史	建築史、美術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ゴシックリバイバル	折衷主義	ヴィクトリアン		
A	10	8	20170614	デザイン史	建築史、美術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	アーツアンドクラフツ	アールヌーボー	キュビズム	アールデコ	
A	11	9	20170621	デザイン史	建築史、美術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	モダニズム	ミッドセンチュリー	ポストモダニズム	20世紀家具の系譜	
A	12	10	20170628	ジャポニズム	ジャポニズムと日本趣味、伝統工芸のデザインにおける応用	1	日本デザインの歴史的評価	ジャポニズムの魅力	近代から現代における日本デザインの世界への影響	Zenデザインの欧州での拡大と発展、その系譜	現代の日本人デザイナー達の世界での活躍
A	13	10	20160628	ジャポニズム	ジャポニズムと日本趣味、伝統工芸のデザインにおける応用	1	日本の伝統工芸の理解	伝統工芸のインテリアにおける可能性	自らのプロジェクトにどう生かすか	伝統工芸を訪ねる	伝統工芸使用例研究

A　インテリアデザインを豊かにする知識(2)

モジュール番号		第回授業	配信日	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5
A	14	11	20170712	デザインとサスティナビリティ	欧州で重要視されるサスティナブル、サスティナビリティを理解	1	サスティナブル運動の基礎。	インテリアデザインへの応用とは。	トレンドに見るサスティナブル事例研究	サスティナブルをキーワードに、豊かな暮らしを取り戻そう。	日本の伝統工芸のサスティナブルな発展へ
A	15	11	20170712	デザインとサスティナビリティ	オリンピックレガシーとデザイン振興、デザインディストリクトの開発。	1	ロンドンオリンピックが市場の拡大にもたらした真のレガシーとは。	デザインディストリクトの開発により、サスティナブルタウンが誕生、その意味とは。	ライフスタイルの結果、働き方のドラマティックな転換が起き、新たな家具市場が創造されていた。	事例研究、新しいロンドンイースト地域のデザイン開発地への大転換。	文化の再興とオリンピックの大きな関連性、日本でもオリンピックをインテリア産業発展の契機に。
A	16	12	20170719	ホテルが牽引するデザインマーケット	ホテル専門家でもある澤山乃莉子がロンドンのホテルデザインを徹底分析	1	ロンドンで生まれたホテルデザインの2大潮流とは。	ブティークホテルの誕生と発展。ブティークホテルが生まれる都市こそがデザインの震源地。	ロンドンキーホテルのデザイン分析とそこでのセレブデザイナー達の挑戦。	日本でのブティークホテルの可能性と、デザイナーが果たす役割。	ブティークホテルデザインが日本の住宅インテリアを変えていく。
A	17	13	20170730	インテリアトレンド	欧州インテリアトレンドの理解	1	欧州インテリアトレンドのダイナミズム	インテリアトレンドの重要性と意味	インテリアトレンドを読む トレンド分析プロセス	トレンドをどう自らのデザインに取り入れるか	スタイルを表現する新素材等
A	18	14	20170804	インテリアトレンド	欧州インテリアトレンド分析	1	インテリアトレンド分析 Paris	インテリアトレンド分析 Milan	インテリアトレンド分析 London		
A	19	15	20170823	デザインスタイル	近年人気のスタイルの理解	1	エクレクティックスタイル	インダストリアルスタイル マスキュリンスタイル	シャビーシックスタイル [illegible]スタイル	エスニックスタイル Nomadicスタイル	
A	20	16	20170830	ライフスタイルデザイン	ファッションとインテリアの関連性の理解	1	ファッションとインテリアのトレンド年代への関連性	ファッションレーベルのインテリアへの進出	ライフスタイルブランドとしてのインテリアアプローチ	ファッションレーベルのマーケティングから学べるもの	
A	21	16	20170830	アートとトレンド	欧州デザイン市場におけるアートのトレンド	1	欧州アート市場のダイナミズム	アートにおけるトレンド	なぜアートが重要か、アートなしでは空間は完成しない。	アートが作り出す様々な空間	
					コマ数	28					

B　インテリアセオリー

モジュール番号		第回授業	配信日	エリア	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4
B	1	17	20170906	空間の理解	最も基本となる空間への理解	1	インテリアセオリー セオリーとは何か、なぜ重要か。	洋の空間と和の空間の根本的な違いを理解する	洋空間の基礎理論 洋空間をどう作るか	間違いだらけの洋空間理解	美しい洋空間を知る。事例研究
B	2	18	20170913	スペースレイアウト	スペースレイアウトとライフスタイル	1	英国のスタンダード間取りとレイアウトの意味、タウンハウスには、優れたセオリーが凝縮する。	住居とライフスタイル（パブリックとプライベート、フォーマルとファミリー空間の考え方と関連性）	レイアウトセオリー アプローチ、エントランスホール、階段、廊下、フォーマルリビングルーム、ダイニングルーム	レイアウトセオリー キッチン、食生活を中心としたファミリールーム	寝室とレイアウト バスルーム、寝室とオンスイート、ゲストWC
B	2	18	20170913	スペースレイアウト	スペースレイアウトとライフスタイル 事例研究	1	マンションモデルルーム空間変換事例				
B	4	19	20170922	色	色彩 基礎と応用	1	色彩と空間の基礎理論	色彩の歴史と文化、歴史色に現れる色彩の地域的認識の違い、気候条件と色彩。	理論を外したところに真の実力が見える 色彩の応用、英国デザイナー達の挑戦。	カラーとトレンド、過去のトレンドリポートに見るトレンドカラーの変遷	色彩と空間、それぞれの空間条件により検討すべき項目が違う。
B	5	19	20170922	色	色彩 実例研究	1	色彩事例にみる各色のパフォーマンス（赤、青、緑、黄色、アースカラー、金、銀、モノクロ他）	各色における事例研究、過去事例から、本当に使える色彩導入を研究。			
B	7	20	20171004	ソフトファニシング	ソフトファニシング	1	ソフトファニシングの重要性と基礎、アイテムとバランスの理解	窓周りのセオリー	寝室のソフトファニシングセオリー	リビングでのソフトファニシングのセオリー	様々なテイストの可能性を実例研究
B	8	21	20171011	照明	照明の効果	1	照明の基礎理論	照明とマテリアルの関連性	照明の上級テクニックと世界の照明器具へのアクセス	室の形状、自然光の取り入れ方と照明手法のバランス	照明の実例研究
B	8	22	20171018	マテリアル	ハードマテリアル	1	マテリアルの重要性	マテリアル、ペイント	マテリアル 床材（木質系、タイル系）	マテリアル キャビネット素材	世界のトップデザイナーはマテリアルづかいも独特。マテリアルの事例研究
B	8	22	20171018	マテリアル	ソフトマテリアル	1	マテリアル、カーペット	マテリアル、壁紙がつくり出す豊かな世界	壁紙の歴史と背景	壁紙メーカーの理解	英国[illegible]プロジェクト 壁紙アートプロジェクト その意義と活動の重要性
B	9	23	20171025	家具	家具	1	家具の構造の理解 良い家具の見分け方 本VS偽 ラインの見極め方	欧州、家具の歴史と様式まとめ	家具と調度の使い分けで空間はもっと深みあるものに。収納 見せる収納と隠す収納	イタリアがなぜ世界の大産地になり得たのか、イタリア高級メーカーの[illegible]、世界的メーカー研究	家具の見極めのためには実践から、本物を見ることの重要性、日本にも家具美術館を。
B	9	23	20171025	建具	建具	1	インテリアセオリー 建具	建具の領域と可能性	建具のスタイルとデザインスタイルの関連性	建具におけるディテイルの作り方	英国のトップデザイナーの作り出す建具デザインの世界、実例研究。
B	10	24	20171101	アンティークとヴィンテージ	アンティークとヴィンテージ、エイジング手法	1	インテリアセオリー アンティークとヴィンテージアイテムがつくり出す豊かな世界	コンテンポラリー空間といかに合わせるか	アンティークとヴィンテージを持つことの意味	サスティナブルと修復、修繕、次世代に引き継ぐために	現代をエクレクティックに合わせるテクニックと事例研究
B	11	25	20171108	フィニッシングタッチ	アクセサリーとフィニッシングタッチ	1	インテリアセオリー フィニッシングタッチとスタイリングのセオリー	アートクオリティを誇る欧州のラグ市場、そのダイナミズムとデザインにおける事例研究	インテリアにおける鏡の効果と重要性、そのダイナミックな使用例	テーブルトップコーディネーションの奥深い世界とその理解の必要性、食とライフスタイル。	フラワーアレンジメント、水、観葉植物、香り、映像と音楽など、暮らしを彩る仕掛けへの理解
B	12	26	20171125	写真	写真撮影とスタイリング	1	プロによる写真撮影の重要性と、撮影現場におけるインテリアデザイナーの役割の理解	インテリア写真の基本テクニックを事例をもとに研究	悪い例をあえて紹介、こういう写真は掲載してはいけない	写真修正の基本テクニック	ビューとしてインテリアを観ることの重要性、スタイリングメンタリティが家を美しくする
B	13	27	20171205	デザイナーとしての知識と感を磨く	特別な素材を見つける	1	ストーリーを持つ素材が入るとどうデザインが飛躍するのか	メーカー研究とトレードアカウント	欧州一流メーカー	ロンドンの超一流メーカーの理解	ロンドンの魅力 ここは訪ねたい 情報はこう仕入れたい
B	14	28	20171227	英国の住宅市場	家の歴史と人々の暮らし	1	英国の歴史建築とその価値の在り方、なぜそこまで古いものを大切にするのか。	英国人にとってのインテリアとは、なぜここまで情熱を傾けるのか。	住宅の寿命が延びた時、市場がどう変化するのか。	英国の建築の基本的理解	古い建築のリノベーションに関する基本理解
B	15	29	20170101	コースレビュー	前回での理解課程を振り返る	1	コースレビュー	住宅政策による市場拡大の事例、イタリアとイギリスの比較例。	戦後の住宅政策がつくり出した日本の間取りとインテリアの意識	なぜモダニズム建築だけが理想となってしまったのか。	
B	16	29	20170101	日本の住宅市場の未来へ	日本の現状をチャンスとして	1	ライフステージによるインテリア、人生と共に活動させるインテリアの重要性。	リノベーション、リフォームにおけるインテリア投資とその効果。	オリンピックを文化と芸術を重視し、サスティナブルインテリアの発展と考える。	インバウンドと民泊が作り出す新たな市場を使ったビジネスモデル。	ライフスタイルデザインをキーワードにすることで生まれる店舗群の構築。
B	17	30	20170102	BID日本支部設立	BID日本支部設立とその意義	1	BID日本支部設立までの歩み	支部設立により目指すもの	行動目標と計画		
					コマ数	14					

The Business Associates of British Interior Design

授業の進め方（基礎知識・理論コース）

- 「基礎知識・理論（AB）コース」申し込みに際しては、必要事項に記載の上申し込むと、簡易審査の上、eラーニングアクセスコードを発行いたします。
- 授業は予め決められた日時に授業マテリアル（テキスト、参考書類等）ならびにYouTubeへのリンクがシェアされます。
- さらに詳しく復習が勉強できるよう、教科書以外の参考書類やリンクもシェアされます。
- 毎回テーマに即した課題が出るので各自の裁量で行ってください。プロは仕事の中で実践が可能です。それにより知識を実践に活かせるようになります。
- 各授業終了後受講記録を行うことで、全課程修了後終了証が発行されます。
- フェイスブックを掲示板として使用します。フェイスブックアカウントを全員が作成しフォローします。
- 年に数回のオープンカレッジを日本で開催し、そこは塾生ネットワーキングの場とします。（別料金）
- 年に一度ロンドンデザインツアーを開催します。（別料金）

※プロコース・アドバンスディプロマコースはお問い合わせください。

BABID
The Business Associates of British Interior Design

受講料

■基礎知識・理論（AB）コース　120,000円+税（一般、プロ向け）

■プロ（CD）コース　120,000円+税（プロとプロを目指す学生のみ）

■アドバンスディプロマ（EF）コース

（上記２コース含む日本側コース約550,000円+税）

- 上記いずれも申し込み審査終了後一括事前払い。授業開始後の返金キャンセル等はできませんのでご了承ください。
- アドバンスディプロマコースの受講費はロンドンThe Interior Design Schoolと協議の上決定いたします。
- ＥＦコース受講までに期間が開く場合には別料金がかかります。

BABID
The Business Associates of British Interior Design

特記事項

- 授業内容や宿題は、日本でのプロ資格受験対策（建築士、インテリアプランナー、インテリアコーディネーター等）には一切対応していません。このメソッドは、世界レベルのスタンダードを習得することに特化した内容です。
- そのため、プロコース以上はインテリアあるいは建築の学校の卒業資格ならびに卒業予定者、プロとしての経験者や資格取得者を対象としています。
- 学校関係の同業者の受講は不可とさせていただきます。ただし、「基礎知識・理論コース」ならびに「プロコース」については、学校単位で受講できる団体割引があります。卒業生の皆様への生涯教育のツールとしてお使いいただけます。ただし、この受講を認める学校数には制限を設けます。
- 企業の社員教育の一環としてご利用いただくこともできます。受講者が1社あたり5名以上となる場合には特別企業割引を適用します。その場合は個別にご相談ください。

BABID
The Business Associates of British Interior Design

お申し込み、お問い合わせはお電話またはメールでお気軽にどうぞ

一般社団法人 英国インテリアデザインビジネス協会 事務局

TEL：03-6804-6501　Mail：info@babid.org

WEB：http://www.babid.org/school

BABID
The Business Associates of British Interior Design